



広報活動を実施



青年部は令和5年1月25日（水）午後6時より大和駅前周辺において、大和青色申告会街頭PR（ティッシュ配布）活動を実施しました。

当日は青年部員・事務局職員6名が参加しました。この活動は平成27年以来8年ぶりの実施となります。

当日は10年に1度の最強寒波が日本列島に到来したとニュースで放映されるくらい寒かったです。200個のティッシュを6名で協力して配布いたしました。

今後も青年部では、積極的に大和青色申告会のPR活動に努めていきたいと考えています。

（原稿）事務局

通常総会を開催

令和5年5月17日（水）午後6時51分より事務局会議室において、第29回青年部通常総会が開催されました。本年度も来賓はお招きせず、青年部と事務局だけの少人数での開催となりました。

議事においては、令和4年度事業報告および収支決算、任期満了に伴う役員改選に関する件、報告事項として、令和5年度事業計画、収支予算について審議が行われ、すべての議案が承認されました。

引き続き部長に就任した下田兼義氏からは、「コロナ禍で実現できなかった新しい行事を積極的に取り組みながら、青年部活動を展



全議案を承認可決

開していきたいと抱負が述べられました。

（原稿）事務局



県連・全青色青年部 通常総会 参加報告

全青色青年部通常総会

6月9日、ビジョンセンター 永田町に於きまして全青色青年部の令和5年度通常総会が開催されました。対面とネット会議システムを併用しての開催でしたが遠方より上京された方も多く、久しぶりの直接会話は大変盛り上がりました。以前はそれこそ「数年ぶりの会話」といった感じでしたが今ではSNSやラインなどの通

信アプリを活用して、皆さんの最近の様子は見聞きしていますので、会話もスムーズに進めることができます。北海道や沖縄の皆さんとも以前より多くの情報交換をすることが可能になりました。コロナ禍でビデオ会議システムが普及したのは数少ないプラスの面かと思えます。総会はいつもの通りに粛々と進み、いつもと違ったのは昨年9月に開催された全青色青年部創立40周年記念式典の収支等が報告されたことです。今思い返しても、神田明神ホールをさせていただいたおかげで、厳かな雰囲気になったホールでの式典は記憶に残る事業でした。総会後は青年部学校として茨城県青色申告会青年部長の大原さんと東京青色申告会青年部長の和栗さんによる事業改革の事例報告でした。茨城県神栖市で「東京食堂」を営む大原さんは有楽町にあった「むらからまちから館」で25か月TOP10に入り続けていましたが、コロナ禍の影響で同館が閉館になり売り上げを支えていた「凄汁餃子」（神栖市のふるさと納税人気No1。ヤフーやアマゾンでも絶賛販売中）がコロナ禍の影響で販路が失われました。結果売り上げが激減し、ネット販売の強化を行う

もなかなか思うようにならず困っていたところ、全青色青年部の会議で和栗さんに出会い、ネット通販の強化策について教えて頂き、右肩上がりに業績が回復していききました。和栗さんはオークションシステムやSNS・予約管理、会計、ポイント配布など数多くのシステム開発を事業とされており、大変優秀な方です。私も時折教えていただき助かっています。青色申告会は税金の話だけではなく、多種多様な人と知り合うことで自分の事業を伸ばすチャンスも与えてくれるところだと思います。人との出会いやつながりが青色申告会に入るメリットの一つと言えるでしょう。



神奈川県連青年部総会

神奈川県連青年部総会

6月21日神奈川県連青年部通常総会が横浜中華街にて開催されました。コロナ禍の影響で昨年までは書面決議で行われてきましたが、今年度は以前と同様に対面の開催となりました。現在、神奈川県下18会のうち青年部の活動をしている会は11会となっております。残りの7会は休部扱いです。青年部員は次世代の地元申告会を支える原動力になっていただけだと思います。その青年部員がない会は今後の会運営に支障をきたすことになってゆくのではないのでしょうか？県連青年部の事業は年3回の常任委員会と総会、秋の研究集会となっております。一般部員の参加できる事業は秋の研究集会ですが他にも全青色青年部の総会と青年部学校。東京地区連のサマーセミナーと研修会となっております。機会があれば是非ともご参加をお待ちしています。さて、総会はいつも通り順調に進み、閉会となりました。この日は神奈川県連の仲戸川副会長（神奈川県会長）にもご臨席いただき、ご自身もかつて青年部出身者であることやこれからの青年部を応援する内容のお話をされ、参加していた皆さんを叱咤激励していただき

きました。3年間のブランクを開けて再会した各会青年部の皆さんは以前と変わらず、元気ではありましたが、自分も含めほとんどメンバーが変わっていないことに気づきました。居心地はいいかもしれませんが組織として現状維持は衰退と同義語です。単会青年部にも言えることですが新しい人が入ってこない状況を見るにつけ、青年部という枠組みから組み立て直さなければならぬところに来ていると思います。どうしたらいいのか悩むところではありますがとろあえずchatGPTで検索してみます!?

(原稿) 青年部長 下田 兼義

他会青年部との交流
ボウリング大会を開催

令和5年7月12日(水)に、大和青色申告会青年部主催のボウリング大会を行いました。県内6つの青年部(横浜中・神奈川・戸塚・川崎西・小田原・大和)より部員が集まり、計16名の参加となりました。ボウリングは2ゲームの合計スコアで順位を決定し、小田原会 秋山副部会長が合計スコア361点で優勝されました。年1回と継続しているこの交流事業は、昨年よりも人数が増え活気が増し

おおいに盛り上がりました。続いて、懇親会を「中国料理 興福楼」で行いました。懇親会では、青色申告会の課題や問題点についての話が中心となりました。各会同じ悩みを持ち、インボイスへの取り組みや会員数の減少・高齢化による役員の担い手不足など、どのような対策をされているか?ある会では、交流会を全会員に向けて実施し、ある会では、会員から指導員の指名をして指導を受けることができたりと、様々な手法を取られていました。大和会でも、HPによる指導の事前予約による待ち時間の軽減に取り組み、若手職員の雇用なども行っていますが、我々も時代に合わせ、刻々と変わる環境に適応しなければなりません。大和会では本年度より年会費の値上げを実施しますが、青色申告会の必要性を考えると、会計ソフトの普及やAIの発展は進んでも、十色の税務について、専門知識のある職員と対面で相談できるというのは、他会でも貴重な機会とおっしゃっていただきました。今回のボウリング大

(原稿) 会計 陳 勝



青年部
部員募集中!!

青年部 LINE 公式
アカウント
友だち募集中!

